

要約カードをつくろう

小5／□が 4つ あります。こうほから 4つ えらびましょう

3 / 5

なまえ

ひづけ

こうほの 語は どれも 本文に 1回だけ 出て きます。この 紙の 要約カードは □が 4つ あります。こうほから 4つ えらび、左から 順に 入れて 1文に しましょう。

ねん土から焼き物へを 読んで、答えましょう。

- ① 地面をほると、ねばり気のある土が出てくることがある。
- ② このような土をねん土とよぶ。
- ③ 水でこねて、作りたい形にする。
- ④ こねるほど、中の空気がぬけて、しっかりした生地になる。
- ⑤ 作った形を日かげでゆっくりかわかす。
- ⑥ 急にかわかすと、ひびわれができてしまう。
- ⑦ 十分にかわくまで、何日もかかることがある。
- ⑧ かわいたものを、かまの中にならべる。
- ⑨ すきまを空けて置かないと、中まで温まらない。
- ⑩ かまの中が、千度をこえる高温になる。
- ⑪ このはたらきで、土のつぶどうしがとけて結びつく。
- ⑫ 冷えると、水を通さない固いつくりになる。
- ⑬ 表面にうわぐすりをかけると、つやが出る。
- ⑭ こうしてできたものを焼き物という。
- ⑮ たとえば、茶わんや皿は昔からこの方法で作られてきた。
- ⑯ 同じ土でも、やき方で色や手ざわりが変わる。
- ⑰ 土から生まれた食器が、今も毎日使われている。

こうほ（この 中から 4つ えらんで □ に 書く）

ひびわれ

茶わん

焼き物

ねん土

食器

皿

つぶ

高温

要約カード

□ は、□ によって □ になり、
□ として使われる。

□には、こうほから えらんだ 語を 左から 順に 入れる。

この 要約に 入れなくてよい 文の ばんごう

「たとえば」で はじまる 文は、くわしい 例や つけ足しです。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「読解プリント」のプリント一覧がひらきます



要約カードをつくろう【こたえ】

小5／□が 4つ あります。こうほから 4つ えらびましょう

3 / 5

なまえ

ひづけ

赤い線を ひいた 文に、ぬき出す語が 1回だけ 出てきます。
書き入れた語が 本文と 同じ書き方（送りがなも同じ）なら ○。

ねん土から焼き物へ

入れなくてよい 文 … ⑮

- ① 地面をほると、ねばり気のある土が出てくることがある。
- ② このような土をねん土とよぶ。
- ③ 水でこねて、作りたい形にする。
- ④ こねるほど、中の空気がぬけて、しっかりした生地になる。
- ⑤ 作った形を日かげでゆっくりかわかす。
- ⑥ 急にかわかすと、ひびわれができてしまう。
- ⑦ 十分にかわくまで、何日もかかることがある。
- ⑧ かわいたものを、かまの中にならべる。
- ⑨ すきまを空けて置かないと、中まで温まらない。
- ⑩ かまの中が、千度をこえる高温になる。
- ⑪ このはたらきで、土のつぶどうしがとけて結びつく。
- ⑫ 冷えると、水を通さない固いつくりになる。
- ⑬ 表面にうわぐすりをかけると、つやが出る。
- ⑭ こうしてできたものを焼き物という。
- ⑮ たとえば、茶わんや皿は昔からこの方法で作られてきた。
- ⑯ 同じ土でも、やき方で色や手ざわりが変わる。
- ⑰ 土から生まれた食器が、今も毎日使われている。

要約カード

ねん土

は、

高温

によって

焼き物

になり、

食器

として使われる。

□には、こうほから えらんだ 語を 左から 順に 入れる。

できあがる要約 … ねん土は、高温によって焼き物になり、食器として使われる。

⑮は、しくみを くわしく 言いかえたり つけ足したり している 文だから。

まるつけの ポイント

4つの語が そろって 入っていれば ○。順番が ちがうと ×。

言いかえた語（「ねん土」を「土」など）は ×。本文の 書き方どおりに 写す。

⑮のように「たとえば」で はじまる 文は、くわしい 例や つけ足しなので 要約に 入れない。